

うね日和

～10月号～



地域の出来事やイベント情報をおとどけ

家老コラム

一人仕事の百姓から皆でやる農業へ！

東京オリンピックの1964年10月、小学1年生の私は、学校から帰るとランドセルを放り投げ、一升瓶に井戸水を詰めリュックサックに入れて片道2kmの道を歩いて家族や親戚のいる田んぼへ行きました。途中しゃっこい井戸水を「くんねえか？」と稲刈りしている近所のとうちゃんに声掛けされ、ねえなっちはならぬと無視して走りだしたことを思い出しました。そして、稲刈りの手伝いにきた人達に今日は家で「ままま食ってってくれや！」と声掛けすると、随分気の利いたことを言う子だなと褒められました。が、実の所お客さんが来れば夕食に魚屋からとる刺身が付くのが常套でしたので、私はそのご相伴にあずかるのが目的で、誘ったことも思い出しました。

50年前は田植えや稲刈りは家族だけでなく、親戚や父の友人など沢山の人が手伝いに来てくれ、田んぼで食うお昼や休憩時のお菓子やお茶、そして夕食の際の宴会など、子どもながらに楽しい一時であり、田植え、稲刈りは楽しみの年中行事でした。

さて、今はどうでしょう？機械化が進み大きなコンバイン、そして整備された大きな田んぼであれば、一人で1町歩の稲刈りも可能で、家族総出や親戚、友人を集めてまでやるようイベントではなくなりました。子どもや孫に「稲刈りだから手伝ってくれや！」なんかと頼めば「儲からない百姓、一人で出来ないのなら止めちまえ！」などときついことを云われてしまうのが落ちて、一人でコツコツやるのが今の百姓の姿ではないかと思えます。

私は大勢で仕事をして、そして一緒に飯を食うことが楽しかったので、UNEを始めてこの方、お昼は地元のお母さん達が作ってくれる料理をいただき、皆で楽しくお話しをすることが大好きなので、これまでうねご飯を続け、これからもと思っています。

また、作業は一人でするよりも「皆で一緒に声掛けしながら、出来る仕事を、出来る人がやること」をモットーにしたことで、楽しくやって来られ、そのことで様々な方々がUNEHAUSに集うようになったと思えます。

中山間地域も高齢化、孤立化、過疎化が進み大勢で農業をすることがなくなりましたが、今こそ、都市部で働く場所のない、行く場所のない、居場所のない、障がい者や生活困窮者、そしてリタイヤされた一般市民に声掛けし、皆で一緒にやる楽しい農業を実現したいと思えます。それが今、力を入れて取り組んでいる「農福連携」の目指すものと思えます。

一緒に活動して下さる方、応援者を募集しています

UNEの活動を応援し一緒に活動してくれる方を募集しています。

障がいのある方、リタイヤして時間に余裕の有る方、地域活動に興味の有る方、社会に出る準備をされている方等どなたでも結構です。外での農作業の他、お昼のうねご飯のお手伝い、民宿業の手伝い、お茶やどぶろくの製造等様々な「しごと」が有りますので、自分に合った作業を選んで頂けます。興味のある方はお気軽に見学にお越しください。スタッフ一同お待ちしております。

- 対象：基本どなたでも参加頂けます。
- 活動日：月・火・木・金（祝日はお休みです。イベント等で活動をお願いする場合も有ります。）
- 活動時間：9時から16時（休憩1時間。長岡駅東口からの無料送迎を利用頂けます。）
- 工賃：1日6時間の活動で1,000円支給いたします。（賛助会員登録が必要となります）
- 見学について：無料で行っています。事前にお問い合わせください。

10、11月のイベント情報



様々なイベントが中止や縮小になっておりますが、ようやく新しい生活様式も広まってきました。UNEでも10月から感染拡大に配慮しながらイベントを開始いたしますので是非ご参加ください。

○キノコ狩り体験教室○

長岡のきのこ博士の原信高先生を招いて秋の大平山でキノコ狩りを楽しむ秋の人気企画。原先生からきのこのお話も聞けますよ！

採ったきのこは原先生から鑑定してもらいます。お昼はきのこ尽くしのうねご飯。新米を使ったきのこご飯は格別です。人気の企画ですので早めにお申込みください。

日時：10月11日（日）9：00集合（受付8：50～）13：00解散

場所：ウネハウス（一之貝869）

会費：1,500円、小学生600円（お昼代、体験料込）、未就学児無料

定員：15名 少雨決行です。山に入れる恰好をしてきてください。



昨年はこんな大きなキノコが採れました

○福祉市民体験農園Oasis R○

○畑じまいイベント○

信濃川河川敷に有る体験型の市民農園「福祉市民体験農園OasisR」で下記イベントを行います。秋野菜の収穫や河川敷の掃除を行い秋晴れの下みんなでお昼ご飯を食べる人気の企画ですのでお早めにお申込みください。

日時：11/3(文化の日) 9：00開始(8：45～受付)13時半終了

場所：千秋が原ふるさとの森公園管理棟

(長岡市千秋3丁目315-1)

会費：大人1,500 小学生700円 未就学児無料

内容：河川敷掃除、ネギ、ジャガイモの収穫

お昼は焚火焼き肉、豚汁、新米おにぎり

※収穫した野菜のお土産付き

少雨決行(Facebookで発信します)、農作業のできる服装でお越しください。



先月の活動報告

9/18にオープンした道の駅「ながおか花火館」のオープニングに出店しました！！

長岡インターチェンジ近くにオープンした道の駅「ながおか花火館」のオープニングにウネも一之貝の美味しい新米、かき氷、くろもじ製品の販売を行いました！

初日は朝から生憎の雨模様でしたが、二日目以降は晴れる時間帯もあり、穏やかな初秋の中、沢山の方が来訪されとても賑わったオープニングとなりました。

残念ながらかき氷を食べるには温度が不足し売上は期待したほどでは有りませんでした。一之貝の美味しいお米は用意した分が全て売れるほど好評で、初日に買っていかれたお客様が美味しかったからと3日目に再度買いに来られるなど嬉しい出来事もありました。

道の駅内のお土産屋「御貢屋」にはUNEのどぶろく、くろもじ茶、くろもじのミストが常時販売される他、今後お米やお餅も販売を行う予定としています。



農福連携サポーター養成講座開催報告

9月19日(土)から21日(月)までの3日間、ハイブ長岡にてUNEが主催する「第一回農福連携サポーター養成講座」が開催されました。

農業と福祉を結びつける「農福連携」を実践する人材を育成する為に行った養成講座には、新潟県内から21名の参加者が集まり、農福連携の基礎知識の他実践的な実習やグループワークを通じ横のつながりや人材交流が積極的に行われ、県内を網羅する農福連携のコミュニティーが構築されたように感じました。

換気や三密に気を付ける等、新型コロナウイルス感染拡大に留意しながら講座を開催、県外から来訪予定だった講師の先生にはビデオ会議のZoomを使い各地と会場とをインターネットで繋ぎ講座を実施しました。

社会の進歩を感じましたが、やはり人と人とが顔を合わせながら温度の感じるコミュニケーションの大切さを改めて感じた講座でもありました。



「一之貝諏訪神社の由来」

草創は宝亀・天応(770年~782年)頃と伝う。大同二年(807年)本村旧家全部脱壊し南の方、四・五町内崩れて全村移転。

東の高い所を上村(うえむら)、中央を中屋敷、仮小屋を設けた処を八日屋敷と言う。

脱壊地を古屋敷と称す。その際、諏訪神社を中の沢の内岡の上に定め大宮を遷す。

柱番の木を植えて神霊とする。木古の周り式十有余尺、本社の勧請は天承(1131年~1132年)年間に吉右エ門が致せり。

寛政四年(1792年)再建、嘉永二年(1849年)八月改築、柏崎県当時村社となる。

大祭は八月十五日、月並祭は二十七日。

大正三年十月古屋敷より須恵器出土、車田※①の伝称があった。

桂の木は社殿の根を桂の木の根が持ち上げたとの事で伐採された。年輪は六百三十程あった。

※①豊作を祈りながら、真ん中から渦巻き状に田植えをした田んぼ。

2020年9月嶋田 進



 **買い物送迎サービス<原信・コメリ等>10月8日(木)、22日(木)**

 **温泉送迎サービス<おいらこの湯>10月13日(火)**

 **病院送迎サービス:希望時間に送迎します。(8:00~16:00)**

<買い物・温泉送迎時刻>

13:10軽井沢集落開発センター→13:15ウネハウス→13:20荷頃地区センター
帰還は15:30頃です。



無料でGO!

◇ご利用希望の方は前日までにウネにご連絡、ご予約ください。
◇病院送迎はサービス会員対象となり、会員は随時募集しています。
どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。